



## SSH「探究Ⅲ」課題研究 最終報告会実施！

7月10日にSSH「探究Ⅲ」課題研究最終報告会が実施されました。SSHⅡ期1年目を迎えた3年生の研究発表が昨年度同様、宝山ホールで行われました。

国立研究開発法人科学技術振興機構、運営指導委員、教育関係者、同窓会、3学年生徒保護者、中学生など多くの方に観覧に来ていただきました。

ステージ部門でもポスター部門でも、各研究班が「後輩に継続研究をしてほしい！」という思いを持ちつつ発表をしていました。

1年生は、後期から探究活動の班編成とテーマ設定を行います。今回の最終報告会を受けて継続研究を行うグループが出てくるのでしょうか？推移を見守りたいと思います。

## ステージ発表！

60期生には研究班が94班あり、そのうち5班がステージ発表をしました。発表テーマは以下のとおりです。

60A06 『印象と文字のデザイン』

60C52 『竹林には竹以外の植物が少ないわけ』

60B40 『Brush up the LIFE of KIDS ~Hearing the voice of 300 of children~』

60D63 『魚の廃棄物で肥料を作ろう』

60C60 『AI×(かける)高齢者 ~見守りシステムを作る~』



▲英語での発表が始まったときはどよめきが起こりました。

発表する側はやや緊張の面持ちでしたが、下級生にわかりやすく説明するために言葉を選びゆっくり話していました。また、質疑応答も素晴らしく、全学年ともにSSHの取組の充実さを感じることができました。

## ポスター発表！

ステージ発表以外の各研究班はB1F、2F、3Fの各フロアでポスター発表を行いました。下級生がお目当てのポスターを探し歩き、前半、後半に分かれて交互に発表を行いました。観覧者からの質疑に真摯に答える姿が印象的でした。



▲プレゼンテーション力も大いに成長しました。

## 最終報告会を終えて…

1年生と2年生はそれぞれの活動において、最終報告会で体験したことを生かそうとする姿がすでに見られます。

21世紀型郷中教育の実践として、3年生はこれまでの探究活動を振り返り、下級生に直接助言・アドバイスを行う時間が設定されます。新しい試みとなりますが、自分たちが経験したことを踏まえた助言・アドバイスを期待しています。

また、開会式の最後には「微生物電池の改良を目指して～広がる微生物の力Ⅲ～」という研究テーマで、科学部による研究発表も行われました。現在は、微生物燃料電池班のほかにも新たな研究班も発足し研究が始まったと聞いています。いろいろな場面で新たな動きが見られるようになったのも最終報告会で刺激を受けた事によるのではないのでしょうか。今後の活躍が大いに期待されます。



▲写真は生物班